

浜田市世界こども美術館

2023.10.14.sat—2024.1.8.mon祝

開館時間 9:30—17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日、(但し、1月8日(祝)は開館)、11月24日(金)  
12月28日(木)~1月1日(月)

【観覧料】一般 500円(400円)

高校・大学生 300円(200円)

小学・中学生 200円(100円)

※( )内は20名以上の団体料金

※未就学児は無料

※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳

・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの

方は半額。介助者1名は無料。

[受付にて手帳を提示]

折る▼COCHAE(会場音響/nensow)、切る▼カジタミキ、温める▼V-I-K-E-サイキ、  
動く▼あしたのんき&ぱらぱらマンガ友の会、編む▼中村潤(めぐ)、考える▼谷内つねお

PAPER MAGIC

紙

の不思議展  
ペーパーマジック



■主催/公益財団法人浜田市教育文化振興事業団(浜田市世界こども美術館)

■後援/浜田市、浜田市教育委員会 ■共催/TSKさんいん中央テレビ ■助成/地域の芸術環境づくり助成事業

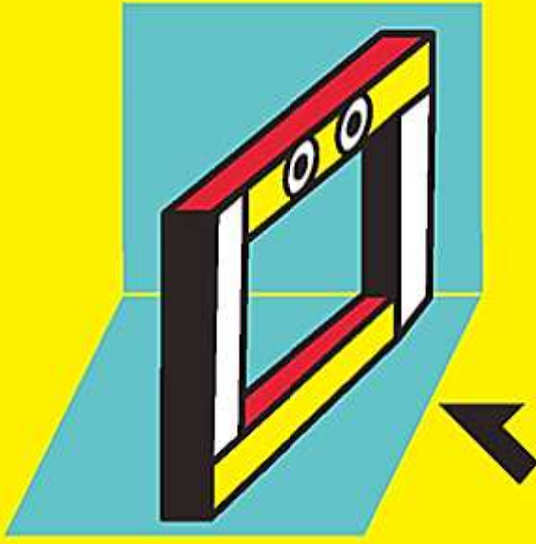


2023.10.14.sat—2024.1.8.mon(祝)

# 紙の不思議展

## ペーパーマジック

本や雑誌、新聞紙、包装紙…。私たちの生活の中にはたくさん「紙」があふれています。現代社会の中で「紙」は身近で、なくてはならない大切な存在といえるでしょう。生活用品としてだけでなく、アートの世界でも紙は幅広く使われています。一般的には平面作品を中心とした絵画に多く用いられています。が、斬新な表現方法に挑戦する作家たちの作品の中には、固定概念をくつがえすような作品が存在します。本展では、「紙」がまるで魔法にかかったかのように、不思議な形に変化する「紙」の面白さを体感できる展覧会です。伝統的な折り紙をポップに表現したグラフィック折り紙、繊細で卓越した技術で表現された切り絵の世界、トイレットペーパーを使った不思議で柔らかな編み込み彫刻…。6組のアーティストは紙にどのような魔法をかけたのか、実際に会場でご覧ください。



フライヤーを縦半分に折って垂直に立て、矢印の方向からみてね。四角形に変身するよ。

### ホリデー創作活動

会期中の土・日・祝日には、事前予約なしで参加することができる「ホリデー創作活動」を開催。紙を使った活動を中心に、いろいろなメニューを用意してお待ちしています。

13:00～16:00 (参加申し込みは1階【創作室】で15:30まで。)

参加費 100円～500円  
活動によって異なります。

定員/各日30名(時間内でも定員になり次第、受付を終了します。)

### オープニングイベント

出品作家がやってくる! 作家の皆さんとお話をしながら作品を鑑賞しませんか。作品を制作している様子を見ることもできるかも?!

10月14日(土)9:30～11:00  
4・5階【展示室】

作家/COCHAE・カジタミキ  
VIKI・中村潤・谷内つねお

※観覧料が必要です。 ※参加作家は変更となる場合があります。

## 出品作家

### 折る▶COCHAE

“あそびのデザイン”をテーマに活動する軸原ヨスケ、武田美貴、菅野沙耶によるデザイン・ユニット。2003年結成、「折紙をもっとポップに」をキーワードにグラフィック折紙を制作。現在は新しい視点を持った玩具や雑貨の開発、商品企画、展示やWSなど幅広い活動を行っている。近年はパッケージデザインを数多く手がける。著書など多数。



### 切る▶カジタミキ

島根県出雲市在住。出雲観光大使。2008年、骨董の染物の型紙を元に独学で切り絵を始める。切るという、攻撃(死)を現す行動の先に作品を生み出す「切り絵」というジャンルそのものに生死を感じ制作を行っている。平面、立体、衣装、空間など様々な作風、技法を扱う。今回は来場者が切り絵を使って自由に壁に描ける参加型アートも展示。



### 温める▶VIKI

2022年東京藝術大学先端芸術表現科卒業。「記憶のリサイクル」をコンセプトに2015年から熱と感熱紙レシートを使ったドローイングパフォーマンスを開始。日本全国から集めたレシートを使用し、忘れ去られる消費行動を考察しながら制作をする。



### 動く▶あしたのんき & ばらばらマンガ友の会

アニメーション作家、フリーでのアニメーション・イラストレーションの仕事の傍ら、フリックブックや映像など気ままに制作している。文化学園大学にて准教授として教鞭も担っている。「ばらばらマンガ友の会」は、あしたのんき他、アニメーション作家や造形作家、イラストレーターなど、ばらばらマンガを愛する作家たちが集まる会。



### 編む▶中村潤

1985年、京都府生まれ。2011年、京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。紙や糸、糸くずなどをさわり、眺めて、考えて、つくって、手から離して、また眺めてみる。身近な素材を縫い、編み、からめ、大小やわらかい彫刻をつくる。小学校で図工の先生をしながら作品を制作。つくることにまつわるワークショップの活動もしている。



### 考える▶谷内つねお

1953年、和歌山県生まれ。1978年に渡米(ボストン)し、デザインスタジオを設立。アートディレクターとして活動。1989年に帰国後は、展覧会を精力的に開き、大学で講義をするなど、多方面で活躍。近年は子ども向けのワークショップなども開催している。「しろいかみのサーカス」、「このかみなあに?」、など著作多数(以上、福音館書店刊)。海外版も多数刊行されている。

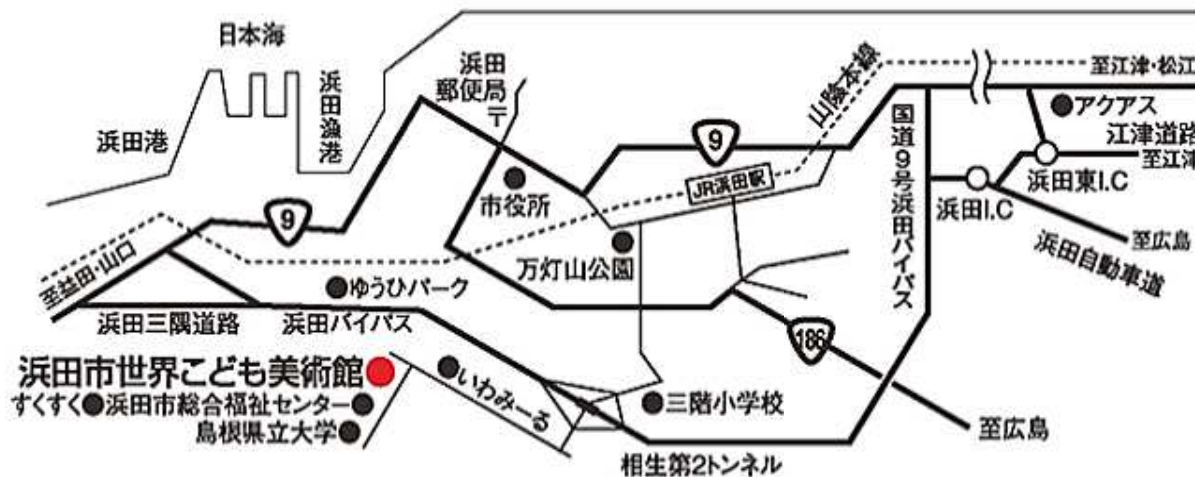


【観覧料】一般 500円(400円)、高校・大学生 300円(200円)、小学・中学生 200円(100円)

※( )内は20名以上の団体料金 ※未就学児は無料 ※身体障害者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方は半額。介助者1名は無料。【受付にて手帳を提示】



Hamada Children's Museum of Art  
浜田市世界子ども美術館  
〒697-0016 島根県浜田市野原町859-1  
TEL0855-23-8451 FAX0855-23-8452  
https://www.hamada-kodomo-art.com/



### 交通案内

JR山陰本線、浜田駅下車  
浜田駅より、島根県立大学行バスにて「こども美術館前」下車  
浜田自動車道、浜田I.C.より車で10分  
しまね海洋館「アクアス」より車で20分

INSTGRAM/ hamada\_kodomo\_art  
DESIGN by COCHAE